

## 目標達成計画

作成日: 令和2年3月23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	入居者本位ではなく、職員側の決まりや都合が優先されている。	職員は入居者おひとりおひとりが一日をどのように過ごしたいかを把握し、希望に沿った支援ができる。	毎朝、職員は入居者お一人お一人に今日一日をどのように過ごしたいかを尋ね、職員全員が把握し、連携して希望に沿った理想の一日となるよう支援を行う。	3ヶ月
2	27	看介護記録や支援経過記録など個別記録にケアの実践は記入されているが、その実践結果や職員の気づきや工夫等は記載されていない。	全職員がケアの実践結果や気づきや工夫なども記載された個別記録をかけるようになる。	ケアの実践結果や気づきや工夫も個別記録に記入することにより、職員間で情報を共有、把握することができ、ケアの実践や介護計画の見直しに活かす。	1~2ヶ月
3	55	現状の建物内部の環境について、安全かつできるだけ自立した生活を送れるような工夫がされているとは言い難い。	職員は入居者お一人お一人の「できること」「わかること」を活かして安全な生活が送れるよう工夫ができる。	全職員はケアの実践から今一度、入居者お一人おひとりの保有能力を確認、把握し、本当に「できること」「わかること」を活かした安全な環境づくりに励む	3ヶ月
4	4	いつも運営推進会議で話される内容が施設の近況報告が主となってしまい、サービス向上に活かされる話し合いが足りていない。	知見を有する構成員の方々の貴重な意見をサービス向上に反映できるようになる。	運営推進会議時にいきいき支援センターの方や民生委員さん、クリニックの相談員さんなどから、情報提供や指導をいただき、サービス向上や地域貢献につなげる。	3ヶ月
5	49	新型コロナウイルス感染予防のため、2月下旬より外出を控えていただいております、入居者の方々のストレスとなっている。	自由に好きな場所に出かけたい。	新型コロナウイルスの感染拡大を抑えるため、入居者及び職員は不要不急の外出を控え、ご家族等の面会を遠慮していただくなど、自施設でできる予防に努める。一日も早く収束され、再び、ご本人の希望を伺い、ご家族とも協力して出かけられる支援を行う。	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。